

コース③

所要時間：約150分

とびしまマリンプラザ▶海づり公園～館岩▶小松浜(海水浴場)▶海岸遊歩道(長崎～賽の河原～明神の社)▶ゴトロ浜・オバフトコロ浜▶荒崎▶自然研究路▶農免農道(キ～カ～オ～エ～ウ～イ～ア)▶とびしまマリンプラザ

**自然研究路
No.22～No.52**

3月～4月中旬、白と紫のアズマイチゲ、紫のオオタチツボスミレが可憐な花をみせます。6月には紫のフジが高木から垂れ下がります。



3月は冠羽に特徴のあるヤツガシラ、4月～5月はジョウビタキ・ルリビタキ・セッカ等など、とにかく野鳥観察には絶好のポイントです。



周辺には良質の粘土があり、縄文土器が作られました。今から約5千年前、縄文時代前中期から中期初頭の遺跡が発見されたのも、この辺りです。船見沢遺跡と言います。

なごし旅館側に下ると宮谷沢ダムがあり、水面付近の虫を捕食するムシクイの仲間などの野鳥が見られるポイントです。

コース④

所要時間：約150分

とびしまマリンプラザ▶勝浦地区～鹿児島寿蔵歌碑▶婦人火防組発祥の碑▶テキ穴▶中村地区～飛島小中学校▶とびしま総合センター▶No.72～ス▶緊急ヘリポート▶農免農道(シ～高森神社～山グラウンド・飛島灯台～コ～ク等)▶とびしまマリンプラザ

**勝浦地区**

5月からウミタナゴ・クロダイ、夏はメジナ・ベラ、秋はイシダイなど堤防からでも色々な魚が釣れます。稀には、マダイ・カンダイなどの大物が釣れることも。

歌碑前には、トビシマカンゾウを植えています。本来トビシマカンゾウは飛島の南西側に自生しているのですが、観光客の皆さんにいち早くご覧いただくために、飛島の人たちが植えたものです。



飛島の婦人消防は、全国で最初に出来た組織。漁に出る男達の留守を預かる強力な部隊です。現在でも女性消防団として活躍しています。

トビシマカンゾウは昭和9年にニューヨーク植物園に送られ、ミカド・ミセスウイマン・カバレロ・ニッグロッティなどの改良品種が生まれ、戦後日本に逆輸入されました。学校の花壇に今でもあります。

コース⑤

所要時間：約40分

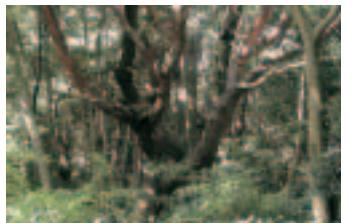
とびしま総合センター▶No.76▶鼻戸崎展望台▶巨木の森▶No.74▶No.71▶No.76へ
※マリンプラザからとびしま総合センターまでは30分

**とびしま総合センターと周辺**

鼻戸崎の海岸は、ウミタナゴ、アイナメ、カレイ、クロダイの釣りの良いポイントです。センターを過ぎたあたりに海岸へ降りるステンレス階段がありますので、注意しながら進んでください。



巨木をゆっくり散策しながら野鳥の群れを追ってください。春、秋とも絶好のバードウォッチングポイントです。



鼻戸崎の眼下に広がる海の色はコバルトブルーです。以前、一口アワビの養殖をしていたときに、水の流れを良くするために掘削した結果、このようになりました。



鼻戸崎展望台(遠方には鳥海山が見える)

コース⑥

所要時間：約60分

法木▶オボゲの浜▶八幡神社▶八幡崎展望台▶袖の浜▶諸の鐘▶保安林作業道▶四谷ダム・四谷展望台▶保安林作業道(No.31～23)
※マリンプラザから法木までは60分

**法木**

家屋の後は全面タブノキです。飛島の中でも、法木は地下水の豊富なところです。タブノキは保水能力の高い木です。

八幡神社には大亀の剥製が鎮座しています。昔、近くの浜に漂着したもので、法木の人が参拝に行く時は「亀参り」とも言います。

平成8年に荒崎が日本の渚百選に選ばれたのを受け、設置したのが諸の鐘です。飛島観光の記念に打ってみてください。良いことがあるかも…。



松林を縫うように通る小道は格好のウォーキングコースです。森林浴に浸り、野鳥のさえずりを聴きながらゆったり歩みを進めてください。

ダムにはウミネコが飛来して、体の塩分を取り除く光景がみられます。着水するときの様子や、飛び立つときの武者震いするような様を見るだけで、時間を忘れることができます。

四谷ダム・四谷展望台**コース⑦**

一周 所要時間：約90分

島周辺

※御積島・烏帽子群島コースは45分
※船は宿又は食堂等におたずね下さい。

**百合島**

ウミネコの繁殖地



百合島の六角柱状節理は市の天然記念物です。また、長い年月をかけて波にもまれた石は角がとれ、丸いゴロタ石になり、対岸の賽の河原まで続いています。



百合島

玄武岩の六角柱状節理は市の天然記念物です。また、長い年月をかけて波にもまれた石は角がとれ、丸いゴロタ石になり、対岸の賽の河原まで続いています。



飛島周辺海域